



公益財団法人

福島県体育協会

福体協ニュース

令和2年2月3日 (No.19-9)

平成31年度（令和元年度）ふくしまスポーツキッズ発掘事業 第3ステージジュニアサポートプログラム【交流プログラム】を実施しました！

令和元年12月7日（土）～8日（日）に、平成31（令和元）年度ふくしまスポーツキッズ発掘事業第3ステージジュニアサポートプログラム「交流プログラム」として、関東方面へ1泊2日のプログラムを実施し、22名のジュニアが参加しました。

1日目は、トップアスリートによる講話としてプロサッカー選手の川澄奈穂美選手からお話を伺いました。サッカーを始めた経緯や、年代別日本代表にもれた時の悔しい体験、日本代表に選出されワールドカップ優勝やロンドンオリンピック銀メダルを獲得できた時の秘話などについて、丁寧にそして面白くお話しをしていただきました。「ブルーのユニフォームを着てサッカーがしたい。」という強い意志や、「たとえ控え選手であっても、試合に向けて最高の準備をする。」など地道な努力の重要性を発信する川澄選手から、ジュニアたちは、夢や目標に向かって明るく、力強く、前向きに歩み続けることの大切さを学ぶことができました。

その後、日産スタジアムへと移動し、川澄選手と一緒に横浜F・マリノス対FC東京の試合を観戦しました。この日、Jリーグ史上過去最高の観客数（6万3854人）を動員した日産スタジアムの雰囲気には、はじめは圧倒されながらも、得点が決まった次の瞬間には歓喜の声を上げながら仲間や川澄選手とハイタッチをし、喜びを分かち合っていました。年間リーグ優勝の瞬間を目の当たりにしたジュニアは、チームそれぞれの雰囲気や会場全体から溢れる感動など、スポーツによって生み出される醍醐味を肌で感じていたようでした。

2日目は、日本大学文理学部キャンパスにおいて東京都体育協会のジュニア指定選手と交流をしました。日本大学の高橋先生の御指導のもと、即席のグループ内で役割を考え、協力し合いながら与えられた課題に取り組む「チームビルディング」、握手の仕方や相手と調和を図りながら関わる「コミュニケーションプログラム」を通して、同世代のアスリートと積極的に交流を深めました。

後半では、トップアスリート交流としてラグビーフットボール元日本代表の畠山健介選手からお話を伺いました。第一線で活躍することの光と影について包み隠さずストレートに伝えていただき、畠山選手の競技に向き合う厳しさや真摯な姿勢を学び、大変貴重な時間となりました。



川澄奈穂美選手による講話



試合観戦の様子



畠山健介選手との交流会



記念撮影

平成31年度（令和元年度）ふくしまスポーツキッズ発掘事業 第3ステージジュニアサポートプログラム【メンタルトレーニング】・【修了式】を実施しました！

令和元年12月15日（日）に、あづま総合体育館研修室にて、平成31（令和元）年度ふくしまスポーツキッズ発掘事業第3ステージジュニアサポートプログラム「メンタルトレーニング・修了式」を実施しました。今回は日本大学工学部の佐久間智央先生をお招きし、メンタルトレーニングの講義をしていただきました。



メンタルトレーニング①



メンタルトレーニング②



修了式



修了証の授与

佐久間先生の講話では、見やすく分かりやすい資料と丁寧な解説によって、メンタルトレーニングについての知識をさらに深めることができました。子どもたちからも「とてもよい勉強になった。」「試合のときに学んだことを活かして頑張りたい」といった感想が聞かれました。この講義で得られた知識を、日頃の生活や練習・大会等に活かし、どのような場面においても自分と向き合い成長できる選手になってほしいと思います。

平成31年度（令和元年度）ふくしまスポーツキッズ発掘事業第2ステージ

【宿泊トレーニング】・【知的プログラム】・【スプリントトレーニング】・【修了式】を実施しました！

令和元年12月14日（土）～15日（日）に、あづま総合体育館にて、平成31年度（令和元年度）ふくしまスポーツキッズ発掘事業第2ステージの最終プログラムである「宿泊トレーニング・知的プログラム・スプリントトレーニング・修了式」を実施しました。

1日目は、クロストレーニング「フェンシング競技」を実施しました。ロンドンオリンピック銀メダリストの淡路卓選手が参加し、大変盛り上がりを見せた内容となりました。トレーニング終了後は、チームに分かれて知的プログラムに取り組みました。このプログラムでは、様々な学年や男女のキッズがチームになり、工夫しながら課題に挑戦しました。作戦を練る場面では、高学年を中心に協力してより良い方法について話し合う姿が見られました。コミュニケーションを図るなかでキッズ同士が打ち解け合い、チーム内に一体感が生まれていきました。宿舎では仲間たちと楽しく会話をしながら食事を取り、ミーティングのなかでは一日の活動の感想を発表しました。



フェンシング体験



知的プログラム



ミーティング



一日目の感想発表

2日目は、福島大学トラッククラブの菊田明博先生をお招きし、スプリントトレーニングを実施しました。なわとびを使ったトレーニングでは、「速く走るには素早さとリズム感が大切だよ」などと、分かりやすい解説を交えながら速く走るきっかけとなる動作について指導を受け、どのキッズも一生懸命に取り組みました。

午後は第2回キッズチャレンジに挑戦しました。得意種目だけではなく、苦手種目も前回の測定記録を更新しようと意気込み、自己新記録に挑戦する姿が見られました。

修了式では、今年度のトレーニングに参加し、その課程を修了した証として全キッズに修了証が授与され、多くのプログラムへ参加したキッズには皆勤賞や精勤賞が授与されました。その後キッズ代表から「希望のことば」の宣誓、そして今年度の活動の様子をまとめたムービーの上映が行われ、温かい雰囲気にながら今年度の全ての事業を終了することができました。式が終わると、1泊2日を共にした仲間との別れを惜しみ「また来年会おう！」と約束を交わす姿が見られました。

今年度の活動を通して学んだことを自己の成長につなげ、福島県を代表するアスリートを目指し、今後ますます活躍していくことを期待しています。



スプリントトレーニング①



スプリントトレーニング②



第2回キッズチャレンジ①



第2回キッズチャレンジ②



皆勤賞授与



キッズ代表「希望のことば」